

令和3年6月17日

報道 各位

美郷町

美郷バレー・きゃらバン
「麻布大学フィールドワークセンター」の町民の生涯学習（授業）について（ご案内）

このことについて、今年4月から美郷バレーの取り組みも麻布大学フィールドワークセンター開設や、美郷バレー参画企業的美郷町内進出など成果が上がっています。美郷バレーの取り組みやフィールドワークセンターを町民に身近に感じていただくため、「美郷バレー・きゃらバン」と銘打って4月から美郷バレーのメンバーが地域に出向いての鳥獣害対策や、小学校を対象にした山くじら学習、さらには麻布大学フィールドワークセンターを使つての生涯学習などに積極的に関わり、地域との交流を深め、地域の主体性を引き出して魅力ある地域づくりにつなげる取り組みをスタートいたしました。

来たる6月30日（水）にはフィールドワークセンターで、美郷町内の都賀行地域の町民を対象に麻布大学フィールドワークセンター長（江口祐輔先生）はじめ、美郷バレーメンバーが生涯学習を開催いたします。大学キャンパスで大学生の気分で、鳥獣対策や美郷バレーの取り組みなどを学びます。

つきましては、下記の日程で開催させていただきますので、少しでも取材していただきますよう報道関係者の皆様にお知らせとご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和3年 6月30日（水曜日） 午後1時30分～午後3時00分
2. 場 所 美郷町粕渚 ゴールデンユートピアおおち内
麻布大学フィールドワークセンター内
3. 参加者 美郷町民（都賀行・潮曲）約20名程度
美郷バレー（麻布大学、タイガー（株））
麻布大学大学院 学生1名 研究論文作成のため滞在 ほか
4. その他
 - ・美郷バレー・きゃらバン ちらし ※別紙
 - ・当日は都賀行公民館の生涯学習と共催になります
 - ・標記の案内以外に、美郷バレー・きゃらバンで集落に出向いて鳥獣対策を指導しています。希望があれば別日でご案内いたします

【問い合わせ先】

美郷町役場山くじらブランド推進課
（おおち山くじら研究所）
電話 0855 - 75 - 1636

美郷バレー・きやらバン



1. 美郷バレー 鳥獣害対策きやらバンについて

- 対象 : 主体的に取り組む意欲のある人・グループ・集落・学校・子ども会など
- 経費 : 負担金はありません。
但し、集落点検後の改善に伴う修繕等は集落またはグループ負担になります(あくまで任意)。
- 内容 : ①集落やグループの鳥獣対策の相談を受けて、麻布大学・町(おおち山くじら研究所ほか)・美郷バレー参画企業が地域に出向いて集落点検や改善点を助言指導します。
対策改善したのち、収穫まで農作物被害の防止の一助とします
美郷バレー参画企業・団体による総合的な鳥獣被害対策の提案による「収穫支援」に取り組みます
(例)「鳥獣被害に強い農地への環境改善」
「電気柵やワイヤーメッシュで農地を囲む侵入防止策対策」
(電気柵の仕組みや適切な張り方などの研修会)
「被害を及ぼしている個体の捕獲対策」
美郷バレー発、開発部材を紹介します(電柵部材、檻など)
②「映像で野生動物の行動を詳しく知りたい」という子供 ▲美郷キャラバン・集落点検の様子(上川戸・上)から大人、ご家族まで楽しく学べる生涯学習(例)『NHKダーウィンがきた!』のような映像と話
- 条件 : 女性もできる限り参加していただくこと
- 申込期限 : 原則 7月末とします 但し、生涯学習は通年
《参考》講師紹介 美郷バレー参画 大学・企業・団体などになります。



2. 雅ねえ(井上雅央氏)の鳥獣対策・野菜果樹栽培・地域づくりなどの研修会について

- 対象 : 原則 交流センターや公民館その他団体からの要請
- 内容 : 研修講演会と講演会後の現地研修会
- 条件 : 主体的に取り組む意欲のある人・グループ・集落など
1回の講演会后、2回目は現地で実践研修会を開催すること
女性もできる限り参加していただくこと
- 申込期限 : 通年



《参考》広報みさと 令和2年4月から毎月連載中『雅ねえの人と獣の話』

問い合わせ先 美郷町役場 山くじらブランド推進課 おおち山くじら研究所
電話 75-1636